

# 一小の校内研修(一人1授業・中期指導主事学校訪問 授業研究会)

## 算数科の学習

令和3年11月19日(金) 第2校時 1年2組

<単元名> ひきざん

<学習について>

この単元は、次のような力を育てることをねらいとしています。

10いくつかから1位数をひいて差が1位数になる減法について、「10といくつか」と見る見方などに着目して計算の仕方を考え、計算することができるようにする。

この学習は7時間予定で、本時は3時間目です。本時のねらいは次の通りです。

10いくつかから1位数をひいて差が1位数になる減法について、図やブロックを操作し考えることを通して、被減数の一の位からひく計算の仕方を理解し、説明することができる。

活動1 前時の話を振り返り、今日の話合いの見通しをもつ。



実際に卵を使って生活の中によくある一場面であることをとらえ、それをブロックに置き換えて問題をしっかり把握しました。

今日の学習は計算ができるようになることではなく、「計算の仕方を説明する」という思考力や表現力を育てる学習です。

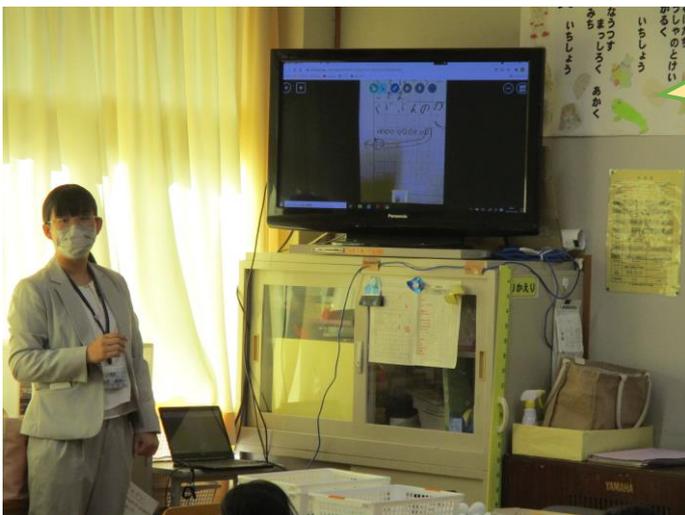
学習のめあてをつかんで、自分で学習を進めていました。



## 活動2 12-3の計算の仕方を自分で考え、発表しあう。



たくさんの児童が手を挙げています。だんだんと上手に発表できるようになってきました。



TVには児童のノートが移っています。これを紹介して児童の思考を促したり補足説明をしたりしました。

タブレット端末を使って児童のノートを撮影し、教材として提示することは効果的な支援となります。

友だちの考えを参考にしてしっかり自分の考えを書いています。

## 活動3 学習のまとめをし、適用問題を解く。



新しく学んだ考え方を使って、練習問題「13-4」を解いていきました。説明の仕方が身についているかを確認します。



ブロックを操作しながら、計算の仕方を上手に説明できるようになりました。

ほかの児童もしっかりと聞いていました。



授業研究会の様子です。指導主事はオンラインで参加しました。